朝会の話

平成 23 年 5 月 22 日

「おはようございますの『ございます』」

俳優さんや歌手などの芸能人や放送関係者は、昼でも夜でも、その日初めて会う人には、「おはようございます」とあいさつをします。おもしろいですね。これってどうしてでしょうか？

あいさつには、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」などがありますが、「おはよう」だけには、相手を大事にする意味がある「ございます」が付きます。

そこで相手（お客様）を大事にするという思いをこめて「おはようございます」を芸能界では、朝、昼、夜いつも使うようになったと言われています。（松竹芸能の先々代の社長さんが提案したと言われているそうです。）

では、どうして「おはよう」だけに、「ございます」を付けるようになったのでしょう？

それは「歌舞伎（かぶき）」から来ていると言われています。

「歌舞伎（かぶき）」って、初めて聞く言葉ですね。

４００年位前から始まった日本の伝統的なお芝居です。派手な服装とお化粧が特徴です。テレビや本で見たことがある人もいるかもしれませんね。

さて、歌舞伎の役者さんは、派手なお化粧とか衣装の準備に時間がかかるので、かなり早めに劇場（芝居小屋）に入場したそうです。

その際、劇場の「楽屋番（がくやばん）」と呼ばれる裏方さんが、この役者さんたちに対して、いつも 「お早ようございますね。」と声を掛けていました。

これは 『出番までまだ時間があるのに、お早いお着きでございますね。ご苦労様でございます。』 という意味です。

元々この言葉には 「あいさつ」 というよりも、むしろ「気遣い」の気持ちが含まれていたのですね。

そして、この「お早ようございますね。」がいつしか 「おはようございます」 に変化してたとも言われています。

みなさんも、「おはようございます」を相手のことを大事にするあいさつとして、心を込めてあいさつをしてみましょう。

では、今ここでみんなで、『相手を大切にする思い』を心に込めて、あいさつをしてみましょう。

「おはようございます。」です。いいですね。

これで、今日のお話を終わります。